

教 育 研 究 業 績 書

令和6年 5月 1日

氏名 山口 倫直

研 究 分 野	研 究 内 容 の キ ー ワ ー ド		
機能・体表解剖学、整形徒手療法、呼吸理学療法	解剖学（触診）、痛みの治療、モビライゼーション		
教 育 上 の 能 力 に 関 す る 事 項			
事項	年月日	概 要	
1 教育方法の実践例 (1) Power Point、静止画、動画、画像データ（レントゲン・CT・MRI）各種検査データ等のマルチメディア技術によるビジュアル的でわかりやすい講義の実践	平成25年～平成27年	(科目)日常生活活動Ⅰ・Ⅱ 日常生活における実際のADL動画、静止画を使い、患者の動き方の分析やセラピストによる指導方法を理解しやすいよう工夫を行った。	
	平成27年～平成28年	(科目)運動療法学（内部障害） 呼吸器・循環器疾患患者の画像データ、各種検査データ、動作画像等をリンクさせることで、運動療法の実際を理解しやすいよう工夫を行った。	
	平成27年～平成29年	(科目)検査・測定法Ⅱ（動作分析） 日常生活における実際のADL動画、静止画を使い、患者の動き方の分析やセラピストによる指導方法を理解しやすいよう工夫を行った。	
	令和5年～	(科目)キャリアアップセミナー（臨床） 実際の脳血管障害の患者の全体像（静止画・動画）と画像データ（CT画像等）を使ったりハビリテーション評価、治療展開を説明した。学会発表のための資料作成、論文作成の講義に続けた。	
	(2) アクティブラーニング型授業の実践	令和2年～	(科目)：医療倫理学 医療倫理に関する問題提起に対して、グループディスカッションを行い、多角的な物事の考え方を学び、発表を含めた反転授業を実践した。
		令和2年～	(科目)：運動学実習 運動について身体を使いながらグループディスカッションを行い、知識の定着を図った。ディスカッション内容を発表することで知識の共有を図った。
		平成28年～令和元年	(科目)：機能解剖学Ⅲ（体幹） 講義内で、小テスト、講義、振り返り（グループディスカッション）、質疑応答を行い、積極的に授業への参加を促した。
(3) リハビリテーションセミナー (-社会活動を行う後遺症および難病指定患者と学生の交流-)	令和5年9月	脊髄損傷患による講演と交流 後遺症が残る病気に罹患したにも関わらず、何事にも前向きに取り組まれている方の生の声を聞ける機会としてリハビリテーションセミナーを企画した。演者は頸髄損傷を患いながら会社の代表を務めておられ、ご自身のこれまでの経緯や苦勞、これからの希望についての講演をしていただいた。学生からの質疑応答の時間をしっかり取ることはもとろん、学生に考えてほしい内容（課題）も取り入れた。	
	令和6年3月	パーキンソン病患者による講演と交流 難病指定の疾患を患いながら、障害者の就労をサポートするNPO法人立ち上げられた方の生の声を聞ける機会としてリハビリテーションセミナーを企画した。ご自身のこれまでの経緯や苦勞、今後の活動や目標についての講演をしていただいた。学生からの質疑応答の時間をしっかり取ることはもとろん、学生に考えてほしい内容（課題）、NPO法人での活動や意義についても考える機会を設けた。またパーキンソン病に関する映画上映会も同時に行い、医療以外のアプローチ（家族や音楽など）を考える機会を設けた。	

<p>2 作成した教科書, 教材</p> <p>(1) 画像所見とADLの動画の制作 (キャリアアップセミナー、体表解剖学、機能解剖学、日常生活動作)</p> <p>(2) オンデマンド動画の制作 (体表解剖学)</p> <p>(3) 合同学習 (看護学生) の症例検討用の資料作成</p>	<p>平成27年～</p> <p>令和3年～</p> <p>令和3年～</p>	<p>臨床現場の患者ご本人から許可をいただき、画像所見 (x-p、CT、MRI) や動作の動画・写真等を講義に織り交ぜて、学生の疾患におけるイメージや理解を深める工夫を行っている。</p> <p>骨・筋の触診を動画で撮影し、PCやタブレット、携帯電話等を使って、いつでも確認・学習できるように図っている。</p> <p>多職種 (看護学生) による合同授業のための症例資料 (アクティブラーニング用) の作成を行った。</p>
<p>3 教育上の能力に関する大学等の評価</p> <p>(1) 外部評価の認証</p> <p>(2) 授業評価アンケートの実施</p>	<p>平成27年～令和7年</p> <p>令和5年～</p>	<p>一般社団法人リハビリテーション教育評価機構より教育内容および教育の質に関して評価を受けて認定された。</p> <p>担当教科の授業評価を受けている。</p>
<p>4 実務の経験を有する者についての特記事項</p> <p>(1) 三重県介護支援専門員研修会 講師</p> <p>(2) 大川学園三重介護福祉専門学校 非常勤講師</p> <p>(3) 亀山市一般高齢者施策 地域支援事業 介護予防教室 講師</p> <p>(4) 第28回三重県理学療法士学会 大会長</p> <p>(5) 名張市教育委員会 事務局スポーツ室 シニアスポーツ大学講座 講師</p> <p>(6) ラピド名張フットボールクラブ 運動指導</p> <p>(7) 三重県立伊勢工業高等学校 バレーボール部 運動指導</p> <p>(8) 三重県理学療法士会 南勢ブロック研修会 講師～</p> <p>(9) 伊勢社会福祉協議会「伊勢市生活支援サポータースキルアップ研修」講師</p> <p>(10) 南本町ぼちぼちウォーキング 講師</p> <p>(11) 伊勢市高齢者支援課「いせ健幸ポイント事業」講師</p> <p>(12) 伊勢市高齢者支援課「いせ健幸ポイント事業 同窓会」講師</p>	<p>平成23年9月</p> <p>平成22年～平成26年</p> <p>平成24年～平成26年</p> <p>平成29年3月</p> <p>平成29年9月</p> <p>平成29年～平成30年</p> <p>平成30年～令和2年</p> <p>平成30年5月</p> <p>平成30年～令和元年</p> <p>平成30年10月</p> <p>平成30年～令和元年</p> <p>令和元年～令和2年</p>	<p>三重県長寿介護課の依頼で、「医療連携による事例報告-訪問リハビリテーション」についての講師を務めた。</p> <p>介護福祉士養成校にて、リハビリテーションについての講義の講師を務めた。</p> <p>亀山市の依頼で市内の複数箇所介護予防・転倒予防の教室の講師を務めた。</p> <p>三重県理学療法士学会の大会長として、学術大会の実施した。本学会のテーマを『これからの理学療法の可能性 ～未来へのマイルストーン～』とし、県内外からの多くの理学療法士および医療従事者が参加された。</p> <p>名張市教育委員会主催の健康な生活を継続・維持するための地域のシニア世代のスポーツリーダー育成講座 (運動生理学) の講師を務めた。</p> <p>サッカークラブチームの練習生 (小学・中学生) に対して、サッカーに適したトレーニング・ケガ予防等の指導を実施した。</p> <p>バレーボール部員 (高校生) に対して、定期的にフィジカルチェックを行い、バレーボールに適したトレーニング・ケガ予防等の指導を実施した。</p> <p>平成30年度第1回南勢ブロック研修会で「徒手療法入門-整形徒手療法」の講師を務めた。</p> <p>伊勢市社会福祉協議会主催の介護予防事業におけるリーダー育成講座の講師 (運動指導とウォーキング指導) を務めた。</p> <p>上記のリーダー育成講座の参加者開催のウォーキングイベントの講師 (ウォーキング指導) を務めた (育成講座のフォローアップ) 。</p> <p>伊勢市高齢者支援課主催の健康寿命の延伸を目的のための「いせ健幸ポイント事業」の講師 (運動で若々しい身体作り) の講師を務めた。年6回開催。</p> <p>平成30年の「いせ健幸ポイント事業」の受講生に対して、理学療法士による運動指導 (ストレッチ・筋力トレーニング等) の講師のを務めた。年6回開催。</p>

(13) 日本理学療法士協会主催 三重県理学療法士会共催の臨床実習指導者講習会 講師	令和元年9月	講義 5・演習 4 の講師を務めた。
(14) 日本理学療法士協会主催 第501回臨床実習指導者講習会 主催責任者 講師	令和3年10月	講習会の主催責任および講義 5・演習 4 の講師・ファシリテーターを務めた。
(16) 日本理学療法士協会主催 第800回臨床実習指導者講習会 主催責任者 講師	令和4年8月	講習会の主催責任および講義 5・演習 4 の講師・ファシリテーターを務めた。
(17) 日本理学療法士協会主催 第914回臨床実習指導者講習会 講師	令和4年11月	講義 5・演習 4 の講師・ファシリテーターを務め
(18) 日本理学療法士協会主催 第800回臨床実習指導者講習会 主催責任者 講師	令和5年10月	講習会の主催責任および講義 5・演習 4 の講師・ファシリテーターを務めた。
(19) 三重県立明野高等学校 職業体験授業 講師	令和4年～	三重県立明野高校からの依頼で、職業体験授業の講師を務めた。リハビリテーションに関わる各種体験を通じ、障がい者や高齢者の不自由さを感じ取り、簡単な検査・評価・治療方法を学ぶことでリハビリテーション専門職の仕事を理解する機会とした。
(20) 志摩市立文岡中学校 職業体験出前授業 講師	令和5年～	志摩市立文岡中学校からの依頼で、職業体験出前授業の講師を務めた。リハビリテーションに関わる各種体験を通じ、障がい者や高齢者の不自由さを感じ取り、簡単な検査・評価・治療方法を学ぶことでリハビリテーション専門職の仕事を理解する機会とした。
(21) 伊勢市社会福祉協議会評議員就任	令和5年6月～	定時評議員会に出席し、前年度の事業の報告を受けるほか、決算の承認、役員等の選任・解任、役員報酬の決定、定款の変更といった重要な事項について審議・決議を行う。また、このほか必要時に開催される評議員会にも出席する。
(22) 夏休みちょこっと福祉体験 講師	令和5年8月	伊勢市社会福祉協議会主催の福祉体験の講師を務めた。リハビリテーションに関わる各種体験を通じ、リハビリテーション専門職の仕事を理解する機会とした。
5 その他		
(1) 医療法人 壽康会 吉田クリニック リハビリテーション科 室長	平成12年4月～平成21年3月	理学療法士の室長として、運動器疾患、呼吸器疾患、脳血管障害のリハビリテーションに従事する。平成18年には訪問リハビリテーションの立ち上げを行った。
(2) 名古屋医療福祉専門学校 教務課 専任教員	平成21年4月～平成22年3月	理学療法学科の専任教員として、学生教育・担任業務等に従事した。
(3) みえ呼吸嚥下リハビリクリニック リハビリテーション部 副部長	平成22年4月～平成26年9月	理学療法士として、呼吸器疾患、循環器疾患、嚥下障害のリハビリテーションに従事した。
(4) 株式会社 グリーンタウン呼吸嚥下ケアプランニング 事務長	平成22年4月～平成26年9月	株式会社（通所リハビリテーション・訪問リハビリテーション・訪問看護・訪問介護・居宅介護支援事業所、サービス付き高齢者向け住宅等）の事務長として、人事・経理を担当した。
(5) 松永整形外科クリニック リハビリテーション科 スポーツリハビリ責任者	平成27年6月～	理学療法士として、運動器疾患を中心にリハビリテーションに従事する。中高生のスポーツリハビリテーションの責任者を担当する。
(6) 有限会社 遊楽里ケアサービス 機能訓練指導員	令和4年11月～	デイサービスの機能訓練指導員として、要介護・要支援者に対して運動指導に従事する。

職 務 上 の 実 績 に 関 す る 事 項				
事項		年月日	概 要	
1 資格, 免許 (1) 高等学校教諭1種免許 (2) 理学療法士免許 (3) 福祉住環境コーディネーター2級 (4) 3学会合同呼吸療法認定士 (5) 介護支援専門員 (6) 呼吸ケア指導士 (7) 第43回理学療法士・作業療法士・言語聴覚士養成施設等教員講習会 修了 (8) 第8回臨床実習指導者講習会(中央講習会) 修了		平成7年3月 平成12年4月 平成13年11月 平成17年1月 平成18年3月 平成26年4月 平成28年9月 令和元年5月	平6高1第819号(石川県教育委員会) 第33315号(厚生労働省) 07-2-07420(東京商工会議所) 第050053号(3学会合同呼吸療法士認定委員会) 24050163(介護保険法に基づく公用資格) 213086(日本呼吸ケア・リハビリテーション学会) 第16135号(厚生労働省・公益財団法人医療研修推進団共催) 第2019-8-049号(日本理学療法士協会)	
2 特許等 該当なし				
3 実務の経験を有する者についての特記事項 (1) 成人片麻痺3週間ボバース基礎講習会 修了 (2) Kaltenborn-Evjenth Concept コース修了 触診、軟部組織へのアプローチ(ストレッチング・マッサージ)、四肢体幹モビライゼーション、スタビリティートレーニング、四肢体幹マニピュレーション、X線読影、研究法修了		平成15年 平成17年-平成20年	日本ボバース研究会 日本運動器徒手理学療法学会	
4 その他 該当なし				
研 究 業 績 等 に 関 す る 事 項				
著書, 学術論文等の名称	単著・共著の別	発行又は発表の年月	発行所, 発表雑誌等又は発表学会等の名称	
(著書) (1) 誤嚥性肺炎ケアをする人のための必要知識 - 臨床の注意点と嚥下食から訓練・評価法まで - (2) 頸部胸部聴診法 Cervical and Chest Auscultation(CCA) - 呼吸リハビリテーションから摂食機能療法まで - (3) いざという時に役立つ誤嚥、窒息時の対処法	共著 共著 共著	平成20年12月 平成21年2月 平成21年2月	星雲社, pp15-18 星雲社, pp36 星雲社	山口倫直, 田中由希子, 山村真由, 鈴木典子, 伊藤秀隆, 井上登太 編著 山口倫直, 高橋 猛, 山村真由, 鈴木典子, 伊藤秀隆, 南谷さつき, 田上祐記, 太田清人, 井上登太 編著 山口倫直, 眞鍋悟志, 位田尚美, 角屋 恵, 川合祐貴, 山村真由, 鈴木典子, 井上登太 編著
(学術論文) (1) 嚥下障害症例における動脈血中酸素飽和度(SpO2)測定値の意味合い (2) ベッドサイドで簡便に測定可能なFEV6の有用性 - 臨床精度と使用感・有用な使用方法 - (3) 誤嚥性肺炎経験症例における口腔内pH低下の要 (4) 難病の方の訪問リハビリテーション	共著 共著 共著 共著	平成20年 平成21年 平成23年 平成23年	呼吸ケアと誤嚥ケア. Vol. 1, No1, 31-32 呼吸ケアと誤嚥ケア, Vol. 1, No2, 35-37 呼吸ケアと誤嚥ケア. Vol. 2, No4, 33-38 訪問リハビリテーション. Vol. 4, 257-265	山口倫直, 井上登太 山口倫直, 鈴木典子, 井上登太 山口倫直, 鈴木典子, 井上登太 山口倫直, 鈴木典子, 井上登太

(その他) 学会発表 (1)FVCの代用としてのFEVの有用性	—	平成21年5月	日本理学療法学会第44回大会, 東京.	<u>山口倫直</u> , 伊藤秀隆
(2)呼吸リハビリテーション指導時、簡便に呼吸機能評価可能な機器の使用経験	—	平成21年6月	日本呼吸器学会第49回大会, 東京	<u>山口倫直</u> , 鈴木典子
(3)閉塞性肺疾患症例における呼吸機能と喫煙量の関係	—	平成21年10月	日本呼吸ケアリハビリテーション学会第19回大会, 東京	<u>山口倫直</u> , 伊藤秀隆
(4)誤嚥性肺炎リスクにおける胃酸逆流の影響	—	平成22年2月	呼吸ケアと誤嚥ケア学会第2回大会, 津	<u>山口倫直</u> , 鈴木典子, 井上登太
(5)口腔内および咽頭内pHの関係	—	平成22年4月	日本呼吸器学会第50回大会, 京都	<u>山口倫直</u> , 鈴木典子
(6)口腔内pHの測定意義	—	平成22年8月	日本摂食嚥下リハビリテーション学会第15回大会, 名古屋	<u>山口倫直</u> , 鈴木典子, 井上登太
(7)咽頭内pH酸性化による口腔内pHの経時的変化	—	平成22年9月	日本摂食嚥下リハビリテーション学会第16回大会, 新潟	<u>山口倫直</u> , 鈴木典子, 井上登太
(8)咽頭内pH酸性化による口腔内pHの経時的変化	—	平成22年9月	日本摂食嚥下リハビリテーション学会第16回大会, 新潟	<u>山口倫直</u> , 鈴木典子, 井上登太
(9)テストペーパーを使用したpH測定の精度評価	—	平成22年9月	日本摂食嚥下リハビリテーション学会第16回大会, 新潟	<u>山口倫直</u> , 鈴木典子, 井上登太
(10)口腔評価(口臭・口腔乾燥・口腔pH)と誤嚥性肺炎発生率の関係	—	平成22年10月	日本呼吸ケアリハビリテーション学会第20回大会, 長崎	<u>山口倫直</u> , 井上登太
(その他) 共同				
(1)Clinical studies of immunization enhancement and antioxidation action by Alicin	—	平成20年	日本癌学会学術総会記事	Y Gu, T. Inoue, N. Suzuki, K. Maruyama, H. Ito, T. Ueno, S. Kanbayashi, M. Ito, <u>M. Yamaguchi</u> , M. Oshima, T. Yamashita, H. Ishii, Y. Tanaka, T. Takeuchi, Kyodo Seok Ahn
(2)Anti-oxidant and anti inflammatory effects by Alkaloid	—	平成20年	日本癌学会学術総会記事	Y Gu, T. Inoue, N. Suzuki, K. Maruyama, H. Ito, T. Ueno, S. Kanbayashi, M. Ito, <u>M. Yamaguchi</u> , M. Oshima, T. Yamashita, H. Ishii, Y. Tanaka, T. Takeuchi, Kyodo Seok Ahn
(3)Immunoactivation and Radioprotection Effect by Enterococcus Faecalis 2001	—	平成20年	日本癌学会学術総会記事	Y Gu, T. Inoue, N. Suzuki, K. Maruyama, H. Ito, T. Ueno, S. Kanbayashi, M. Ito, <u>M. Yamaguchi</u> , T. Yamashita, M Iwasa, H. Iwasa, Kyodo Seok Ahn
(4)Radioprotection effects of TMG(2-(α -D-Glucopyranosyl) Methyl - 2, 5, 7, 8 - Teramethylchorman-6-OL) to malformation effects of the irradiated mice.	—	平成21年	日本放射線影響学会第53回大会, 京都	Y Gu, T. Inoue, N. Suzuki, K. Maruyama, H. Ito, T. Ueno, S. Kanbayashi, M. Ito, <u>M. Yamaguchi</u> , M. Oshima, T. Yamashita, H. Ishii, Y. Tanaka, T. Takeuchi, Kyodo Seok Ahn
(5)Clinical studies about an antioxidant effect for a source on internal enzymatic index.	—	平成21年	第67回日本癌学会学術総会, 名古屋	Y Gu, T. Inoue, N. Suzuki, K. Maruyama, H. Ito, T. Ueno, S. Kanbayashi, M. Ito, <u>M. Yamaguchi</u> , M. Oshima, T. Yamashita, H. Ishii, Y. Tanaka, T. Takeuchi, T. Ishita, Kyodo Seok Ahn

(6) Ames test and toxicokinetics test for Ganoderma lucidum.	—	平成21年	日本癌学会学術総会記事	Y Gu, T. Inoue, N. Suzuki, K. Maruyama, H. Ito, T. Ueno, S. Kanbayashi, M. Ito, M. Yamaguchi , M. Oshima, T. Yamashita, H. Ishii, Y. Tanaka, T. Takeuchi, Kyodo Seok Ahn
(7) 在宅介護高齢者の性差によるリスクの検討	—	平成27年6月	第50回日本理学療法学会学術大会, 東京	青山満喜, 山口倫直 , 熊谷旬一郎
(8) 高齢者のポリファーマシーは立位時の重心動揺に影響するか	—	令和3年10月	第37回東海北陸理学療法学会学術大会, 静岡	青山満喜, 山口倫直 , 熊谷旬一郎
(9) 対象者の年齢と評価項目間の差異の検討	—	令和4年4月	第30回愛知県理学療法学会学術大会, 愛知	青山満喜, 山口倫直 , 熊谷旬一郎, 山本剛生

(注)

- 1 この書類は、学長（高等専門学校にあっては校長）及び基幹教員（大学院にあっては専任教員）について作成すること。
- 2 医科大学又は医学若しくは歯学に関する学部若しくは学部の学科の設置の認可を受けようとする場合、附属病院の長についてもこの書類を作成すること。
- 3 「研究業績等に関する事項」には、書類の作成時において未発表のものを記入しないこと。